

モニターレポート(2月報告)

【報告内容①】

上流から河口に向かって走ってみました。松浜辺りの土手は一部改修工事も終わり、とても走りやすくなっていました。

ひとつ気になったのは、「迂回路」の看板が見え難かったことです。表示が小さく、道路のどこに看板があるのか注視しないと分からず、特に曲がり角付近では不便を感じました。地元の方は問題ないと思いますが、時々通る者にとっては、もう少し大きいとありがたいと思いました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の河口付近は、堤防耐震補強工事を多く行っています。工事は地元の方の理解を得て、順調に進んでいます。

道路を通行止めにして工を進めている箇所は、迂回路を設置しています。迂回路の手前には案内看板を立てていますが、その看板が見えにくいとの指摘をいただきましたので、早々に施工業者に、通行者に見えやすい看板に改善し、気をつけて工事をするように伝えました。

今後は、このような事例がないようにしていきます。

【報告内容②】

除雪用の赤のしましまのポールが3本曲がって立っていました。

他にも、反射が付いているポールも曲がっていたり、錆びて真っ黒くなっていました。

〈事務所からのコメント〉

赤白のしましまのポールと反射体が付いているポールは、デリネーターポールと言います。このポールは、道路の側方などに沿って、道路端や道路の線形を示しているもので、積雪地では除雪作業の目印の役割も果たしています。

デリネーターポールは大半が樹脂製のため、錆は出ないのですが、錆びて見えたのは古い鋼製の物かもしれません。道路管理者に連絡を取ります。ご報告ありがとうございました。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

空は青く、山には白く雪があり、さらに「とび」が六郷の辺りでは数羽見られ、大自然を満喫することができました。

ニュースで、ダニで死亡者が出ているとのことですが、これから春にかけ、草が伸びたりして、危険が多くなるのではないかと心配しています。

〈事務所からのコメント〉

長かった冬もようやく終わろうとしています。春が待ち遠しいですね。

今般、報道されたのは、マダニを介して感染すると見られる「重症熱性血小板減少症候群」という病気の事案です。

マダニは、主に森林や草地等の屋外に生息していますが、市街地でも多く見られ、春から秋にかけて活動が活発になるそうです。

厚生労働省でも注意を促していますが、他の感染症も含め野外で活動するときは、肌の露出を少なくする等の対策をとっていただければと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。